

平成 26 年度「みえの現場・すこいやんかトーク」(大紀町) の概要 【速報版】

9月2日(火)に大紀町地域交流センターで「みえの現場・すこいやんかトーク」を開催しました。

当日は、「地域を元気にする活動に取り組む皆さん」8名の方にお集まりいただき、活動内容や将来への思い、行政へ期待していることなどについて、ご意見などをお伺いしました。



【参加者からの発言】

代表者の方から団体の活動について紹介いただいた後、参加者の皆さんから、以下のようなご意見をいただきました。

(活動紹介)

- 阿曾湯の里「あすなる会」は、地域での愛着とおもてなしの気持ちから立ち上げた。おすすめメニューはうどん定食。83歳のおばあちゃんが炊く味ご飯が好評である。
- 阿曾湯の里「四季の店旬彩」は、町内の農林産物などの直売施設としてオープンした。農家所得の向上と地域の活性化を図るため活動している。
- 大紀町食生活改善推進協議会は、食育を通して子どもからお年寄りまで健康づくりの普及啓発活動を行っている。地域の健康づくりの世話役としてがんばりたい。
- 船三ひまわり会は、「もったいない」と地域とのつながりをテーマに活動している。毎週木曜日にリサイクル品作りやボランティア活動をしている。

Q、この活動に参加して、良かったこと、嬉しかったこと、感動したこと、やりがいを感じたことはありますか？また、自慢話はありませんか？

- 「あすなる会」に参加して良かったのは、お客さんとのふれあいを通じて、親しくなれることで、「いらっしゃいませ」という前に、「いらっしゃいました」と言う常連もいる。

「あすなる会」の一番人気のメニューであるうどん定食の麺はこの地域で作っており、麺が太くて美味しいと言われることが自慢である。

この地域に引っ越してきて、「四季の店旬彩」に入って今はシイタケを作っている。肉厚であり傘が開いてないもののおいしいが、そういうのができたときに嬉しい。「四季の店旬彩」には、85歳のおじいちゃんも杖をついてやってきてくれる。今はキュウリやナスがお勧めだが、皆さんからおいしいと言われるのが励みになっている。

今日は、郷土食の一環として食生活改善推進協議会の会員で作った、「落花生ごはん」と「おさすり(茨饅頭)」を用意したので、皆さん方には是非召し上がっていただきたい。これらはこの地域で祭りなどのイベントの定番として大変好評な食べ物である。食生活改善推進協議会の会員になって、自分も元気になって仲間もできる、毎日が明るく過ごせることが良いところと思っている。生活習慣病予防の一環として、メタボ予防教室で塩分控えめの料理などをしており、自分も元気でいさせてもらって、ありがたいと思っている。

食生活改善推進協議会では一番の古株であるが、健康であるということが一番の自慢である。その秘訣はやはり食生活にあると思っている。

ひまわり会では毎週木曜日に集まって周りにあるもので不用となったものを、もったいないということで、リサイクルに取り組んでいる。そんな活動に家のことを放っておいても集まりたいという仲間がいることが自慢である。

リサイクルで作った作品を地域の文化展で見てもらったり、祭りで自分たちの作った作品を買ってもらったりしていることがありがたいと思う。

Q,この会でこんなことをやりたいとかこういうことにチャレンジしていきたいとか、今後の夢などありませんか？

会員を増やしたい。そしてみんなで仲良くして、地域を大事にしていきたいと思っている。

この地域も少子高齢化が進んできており、食生活改善推進協議会では60から70歳の方で活動をしている。今後の課題として、若い人に会員になってもらってこの会がずっと続くようにしたい。一年間に7から10回講座を受けないと会員にならないのがネックになっていると思っている。

「四季の店旬彩」は、会員の8割が女性なので、女性のアドバイスを素直に聞き入れて、女性に嫌われないようにと思っている。

「あすなる会」は、会員が7人なのでもう少し会員がほしい。そして一日でも長く続けたいと考えている。

【知事の発言】

今日の4つの団体の皆さんの、お話をお伺いして、やっぱり、「地域が好きだ」、この「大好きな地域を、ふるさとを何とかしたい」という、この「地域への愛」を感じた。

普段の活動の内容自体は、地域の為であったり、誰かの為、人の為にやっているものであっても、結果、自分に仲間ができたり、自分の健康が良くなったり、という事なので、きっと、そういう、誰かの為に、地域の為にやった事は、自分に返って

くるということを感じさせていただいた。

会員の確保ということについては、県内のいろんな団体の皆さんが、苦勞されている点ではあるが、そういう課題もあるという事もわかったのでその点については、県としても、このすこいやんかトークもそうだが、皆さんの活動をPRしたり、情報発信する事で、少しでも会員の皆さんが増えていただくような協力をこれからもできればと思っている。



【地域を元気にする活動に取り組む皆さん】とは

地域を元気にする活動に取り組む皆さんは、以下の4つの団体に構成されており、食の提供やボランティア活動などを通じて地域の活性化に取り組まれています。

- ・阿曾湯の里「あすなる会」

旧阿曾小学校を利用したふれあい総合施設「阿曾湯の里」を拠点に活動する団体で、地元女性が集まり、食事や喫茶で憩いの一時を提供しています。

- ・阿曾湯の里「四季の店 旬彩」

「あすなる会」と同様に、ふれあい総合施設「阿曾湯の里」を拠点に活動する団体で、地元農家が集まり、野菜、米、雑貨等を販売しています。

- ・大紀町食生活改善推進協議会

食育を通して子どもから高齢者を対象に、健康づくりのための普及啓発活動を行っている団体で、親子料理教室、メタボ予防教室、適塩料理教室等を開催しています。

- ・船三ひまわり会

「もったいない」と「地域とのつながり」をテーマにボランティア活動を行っている団体で、リサイクル材を利用したかご作りや清掃活動などに取り組んでいます。